

(行方市) なめがた市民 100 人委員会「第 2 回委員会」議事メモ

分科会	第 4 分科会
コーディネーター	桑子幹弘 (太田市企画政策課主任)
ナビゲーター	なし
説明担当者 (自治体)	生涯学習課 2 名
日時	2020 年 11 月 8 日 (日) 13 時 50 分から 15 時 20 分
場所	麻生公民館 2 階研修室
その他	参加者数 6 名 欠席者数 10 名

趣旨・概要

- ・ 導入 (前回のおさらい) ・ 改善提案シートの記入方法の説明
- ・ 自己紹介
- ・ テーマについて思うこと (論点整理)
- ・ まとめ (次回に向けて)

総括

分科会 会長総括

- なし。

コーディネーター総括

- 生活している中で感じる「子どもに関する」ことを考えてきてほしい。

協議の流れ

【各委員自己紹介 (別紙)】

【行方市の転入転出について】

コ) 「年齢階級別純移動数の時系列分析」について説明。昔に比べて、行方市からの転出状況が変わってきた。20 代の就職・転職のきっかけで、外に出ていく? 神栖市、鹿島市に転出している (工業地帯) 転出超過数内訳をみると、意外と近場が多い。転出後も、地元とのかかわりが強い?

基本方針 02 の説明。意識して生涯学習に取り組んでいる? 太田市では、子どもではなく高齢者の社会学習がメイン。対象は?

市) 全体的にしている。麻生藩家老屋敷でのイベントも運営。

コ) 前回の話を聞いていると、普段の生活を市内で送っていない人が多い?

委) スクールバスで高校 (鉾田) に通っている。

委) 高校独自で、スクールバスを用意し、生徒を確保している。

委) 小学校 2 年生の子どもがいるが、土日は行方市か、潮来の祖父母の家に。子ども会も盛ん (20 数人) だが、休みの日に、お互いの家で遊ぶことは少ない (防犯上) スクールバスで祖父母宅に行き、夜そこまで車で迎えに行く。休日は、ベイシア? 行方市内で買い物をすることは少ない?

コ) 公園は?

【子どもをサポートするしくみについて】

委) 最近の子どもは、公園に行っていない。

コ) 育成会は?

市) 地区ごとに縄跳び大会などを行っているが、参加者は減少傾向。

委) : 委員、コ) : コーディネーター、ナ) : ナビゲーター、市) : 説明担当者

委) イベントは、親のみ？
 市) 行方市の育成会は、子ども会に子どもがいる親が実施している。それ以外の関わりで、市では実施していない。各子ども会の行事は任せている。
 コ) 子ども会以外の地域内でのこどものつながりは？
 委) 祭り。子ども会も参加。子ども会に入らない親が増えている。
 委) 行事数少ない。町内会費に入っている。子ども会に新しい人が入らない。
 委) 個別の地域イベントの会費を払っている。地藏盆や懇親会費は払っていない。
 委) 1年に3回程度、まわりには住民としての子どもがいない（一番小さくても大学生）
 コ) 新興住宅地は？
 委) まとまった新興住宅地はなく、バラバラに点在。農地の市街化調整区域のため、住宅を建てるハードルが高い。
 コ) 太田市でも実家の敷地内に建てる人は多い。もともと土地を所有している土地に、建てる。
 市) 全戸訪問するが、95%程度わかる。
 コ) 子どもが3歳で行方市に帰ってきた理由は？
 委) 最初は職場が行方市。行方市には祖父母宅。勤務先が土浦市。
 コ) 子育ての祖父母や親世代の協力。どれくらいの頻度であった？
 委) 来年小学生。+3歳、1歳。3日間交代。
 コ) 土日で、わけている。子育てを始めて、公園がどこにあるかなど、地域の事を知ることにつながった。地域の講演は？
 委) ふれあいランドは夏。
 委) 遊具は責任問題になる。
 コ) 利根川添いには大きな公園がある。
 市) 資料の説明。郷土かるた(H25)からスタート。
 コ) 各小学校で取り組んでいるのか。
 市) 各小学校で周知し、グループを結成。学校での訪問授業もしている。(例.玉造小学校4年生)
 委) 各学校では先生が工夫して、地域について知る機会を設けている。いろんな行事を年間通して行っており、大変。
 コ) 学校の先生と育成会との関わりは？
 委) 互いに独立している。
 コ) ほかに、計画にはいろいろな取組が位置付けられている。地域と学校をつなげる「キャリアコーディネーター」？
 市) コミュニティスクールなどのイメージだと思う。
 委) 食育などの授業をするのもいいのではないかな。生きていくうえでのキャリア形成の先生は必要だと思った。
 コ) 放課後児童クラブは？
 市) 市で実施している。コロナ以前でも、ゲストスピーカーを呼ぶことは大変。
 コ) 運営主体はどうか？
 市) 市もあるし、地域住民でというものもある。
 コ) 学校の学生の人数は？
 市) 小学校は、30人・2クラスなど。
 委) ①放課後になるとスクールバスで祖父母に帰り、夜に親が迎えに行く、②放課後倶楽部。またはそのまま自宅へというパターンがある。
 コ) 児童クラブの対象は？
 市) 小学生のみ。玉造多い(アパートが多い地域。)北浦・麻生は、少ない。子どもは全体で450人。
 コ) 今日話を聞いていると、「連携が大切」だと感じる。子育てするうえで、基本的に自分で育児し、親や祖父母に頼る。地区によっては、子ども会を使っている例もある。市は、「つなぎ役」。弱そうな点は、「学校と地域をどう結ぶ」「そもそも子どもがいない

委) : 委員、コ) : コーディネーター、ナ) : ナビゲーター、市) : 説明担当者

地域という地域を、どのようにつなぐか。」かるたについては、物自体はあるが、それを知らないから活用できていない。

委) 上毛かるた（地元を出ても、同じ県内で盛り上がる。）など、在住市自治体に関わらず共通できる部分はいい。

コ) 子ども会と、子どもがいない地域の関わりは？

市) 子ども会連絡協議会も、子ども会があるエリア対象。行事も、子ども会が行っているので、子ども会がない地域ではなかなか関わりがない。

コ) 子どもがいない地区に、新しく家を建てるタイミングがなさそう。

委) かるたをあることは知っていた。地域での子どもとのふれあいがいい世代が、どのように関わるのか？孫が出来れば別だが。場所やきっかけはどうすればいいかわからない。

子ども会の会長も知らない。→情報発信。

コ) 子育て終わった後に、手伝おうという気になる？

委) ガッツリかわるといふよりかは、見守るイメージ（声かけなど）。みんな保守的だが、穏やかな環境で育っている。優しい人が多い。いじめなども少なそうなイメージ。子どもの年齢が近い人同士で、仲良くしている。

委) 聞きたいこととしては、「子育ての相談は誰にする」のか

コ) 基本方針 01「子育てと仕事の両立」は次回に議論のテーマとする。

コ) 地域と地域を結びつけることも考えていこう。